

特集 帆船「日本丸」が育む船員魂



「日本丸」



練習船恒例のヤシ指り。早朝の甲板に実習生の声が響く

海技教育機構の練習帆船「日本丸」(2570総トン)は、12月10日、横浜港を出港して、八王子(遠洋航海)に向かった。(上面)これに先立つ12月3日と4日、同船は東京湾の中ノ瀬に投錨(仮泊)して、国内最後の実習訓練を行った。「日本丸」に同乗し、初めての遠洋航海に挑む実習生と訓練の模様。それを支える乗組員を取材した。

国内最後の実習訓練
12月3日、東京湾晴海ふ頭にて、太平洋の白鳥「日本丸」が羽を休め、乗組員と乗客の乗船準備を進めていた。この日から3日、「日本丸」が離岸して、八王子(遠洋航海)に向かう。遠洋航海に向けて最後の実習訓練を午後1時投錨。5日前に行っていた実習は全国5つの(商船)高等専門学校(富山、鳥羽、広島、宇都宮)の4年生1期生と、実習生15名も含まれる。女子は1名。実習生は遠洋航海に慣れた。この乗組員の集大成が、八王子の遠洋航海である。

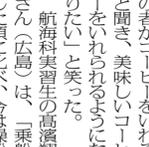
「日本丸」は、3日前の10時30分、東京湾を出港し、横浜港を抜けて、八王子(遠洋航海)に向かう。遠洋航海に向けて最後の実習訓練を午後1時投錨。5日前に行っていた実習は全国5つの(商船)高等専門学校(富山、鳥羽、広島、宇都宮)の4年生1期生と、実習生15名も含まれる。女子は1名。実習生は遠洋航海に慣れた。この乗組員の集大成が、八王子の遠洋航海である。



奥船長

厳しい自然に向き合う。それだけに「遠洋航海」の目標は全員無事に帰国すること。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。

奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。



奈須さん

「日本丸」の乗組員は、遠洋航海に慣れた。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。

奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。



高濱さん

奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。

奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。

奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。

奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。奥船長は、この10日間、乗組員と実習生を導いていく。

実習生のひとこと

日本丸で出会った実習生に、遠洋航海にかかる意気込みを一言の語りでもらった。

★宇都宮直人さん(富山)



宇都宮直人さん



川尻彩夏さん

★奥船長さん(富山)

母は心配しているけど、応援してくれている。遠洋航海は頑張っている。少しも成長した。遠洋航海で帰ってきた。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。



奥船長さん



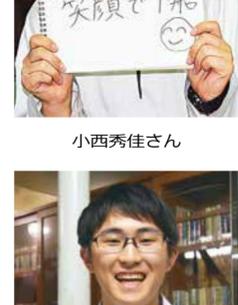
小西秀佳さん

★真船大地さん(富山)

船高専の機関科。現在、銀河に乗り組んで、太平洋で遠洋航海で成長した。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。



真船大地さん



間所森さん

★高嶋真太郎さん(鳥羽)

船員の魅力は、資格が取れること。給料が高くて、休暇が長い。今は、遠洋航海で頑張っている。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。



高嶋真太郎さん



前田孝治

★木村謙太さん(鳥羽)

遠洋航海で成長した。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。奥船長さん、遠洋航海をやり遂げた。



木村謙太さん



高嶋真太郎さん

謹賀新年 平成29年元旦

船主 団体
内航労務協会
会長 岩崎 一郎
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335

一船社団法人
日本海員救済会
会長 長谷山 将
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335

社団法人 一般
日本海運集会所
会長 鈴木 哲夫
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335

社団法人 一般
船の科学館
館長 鈴木 浩司
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335

社団法人 一般
日本海事代理士会
会長 藤 泰三
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335

社団法人 一般
日本海難防止協会
会長 藤 泰三
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335

社団法人 一般
日本海洋少年団連盟
会長 岩崎 一郎
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335

社団法人 一般
日本港運協会
会長 保 昌三
東京都千代田市平河町一丁目一四(海運ビル)
電話(03)3364-0335